（公社）大阪精神科診療所協会
職員研修交流会

接遇とコミュニケーション

日　時　：　令和７年１１月１５日（土）　１６：００～１８：００

会　場　：　TKP ガーデンシティ大阪梅田　13F「カンファレンスルーム 13A」
〒553-0003 大阪市福島区福島 5-4-21 TKP ゲートタワービル

講　師　：　**杉山　博通　先生**（　杉山診療所　院長　）

参 加 費　：　無料（懇親会も無料）

このたび、職員同士の相互理解とスキル向上を目的として、「職員交流研修会」を開催いたします。本研修会は、日頃から患者さんやご家族と向き合う現場の皆さまにとって、より良い関係づくりと対応力の向上を図る貴重な機会となることを願い、企画いたしました。本研修会は、診療所で働いておられる全ての方が対象の研修となります。コロナ禍を超えて、久しぶりに、対面でのグループワークを行います。

およそ 30 年前に大精診で作成された「診療所職員の接遇のあり方」というマニュアルには、今手に取ってもなお、普遍的な内容が多く含まれており、共有する価値が高いと考えました。そこで、研修の前半は、このマニュアルをもとに、精神科診療所における「接遇とコミュニケーション」をテーマとして講演を行います。医療における接遇とは単なる礼儀作法にとどまらず、患者さんとの信頼関係を築き、治療効果を高め、さらには医療安全や職場環境の改善にもつながる、極めて本質的な要素です。接遇は感性だけでなく、日常の実践を通じて「技術」として習得できること、さらに非言語的・言語的コミュニケーションの在り方について考えたいと思います。

特に精神科医療においては、患者さんの抱える不安や困りごとに寄り添う姿勢が不可欠です。何気ない応対や職員間の私語でさえ、患者さんにとっては大きなストレスとなる可能性があります。家族対応や第三者からの問い合わせにおいても、プライバシー保護と信頼醸成の両立が求められる場面が多くあります。そうした対応一つひとつに心を配ることの大切さを、あらためて共有できればと思います。

後半は、複数のグループに分かれてのディスカッション形式で、各クリニックでの実際の対応経験をもとに意見交換を行います。対応に工夫を要した具体的な症例を取り上げ、どのような接し方が有効だったか、またどのような課題を感じたかをグループ内で共有していただきます。他施設の職員との意見交換を通じて、自院だけでは得られない多角的な視点や新たな気づきが得られることと思います。

また、研修後には立食形式での交流会も予定しております。日頃なかなか顔を合わせる機会の少ない職員同士が、リラックスした雰囲気の中で交流し、一体感を高める貴重な場となれば幸いです。
皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。

大阪精神科診療所協会
地域精神福祉委員会　杉山　博通

主催：（公社）大阪精神科診療所協会
共催：（公社）日本精神神経科診療所協会

※当該日の午前 11 時の時点で大阪府域において「暴風警報」または「特別警報」発令中の場合、
中止とします。なお、別途開催が可能になった場合は後日に御案内します。

◆◇◆◇　参加のお申込みは、大精診ホームページにて受け付けます　◇◆◇◆
10 月 25 日(土) までに、裏面の QR コード／URL から申込ページへお進みください。

申込締切：１０月２５日（土）

下記リンク先から、参加申込画面へお進みください。

11 月 15 日(土)職員研修交流会

お申込はこちらから　⇒

https://daiseishin.org/mice251115

【会場】 TKPガーデンシティ大阪梅田

〒553-0003 大阪市福島区福島5-4-21 TKPゲートタワービル

*JR大阪環状線 大阪駅 西口より 徒歩7分
*大阪メトロ御堂筋線 梅田駅 地下街6-2番出口より 徒歩2分
*JR大阪環状線 福島駅 出口より 徒歩3分
*阪神本線 福島駅 東出口より 徒歩3分